

教育研究業績書

2017年10月20日

所属：生活環境学科

資格：准教授

氏名：山田 由美

研究分野	研究内容のキーワード
建築設計	住宅の設計手法についての研究 町家の現代住宅への転用 環境共生住宅
学位	最終学歴
修士(工学),工学士	京都工芸繊維大学大学院 工芸学研究科 住環境学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 設計実習	2012年～現在	少人数のグループ制(スタジオ制)を導入し、グループ内でのディスカッションを密にすることで、学生の設計スキルとプレゼンテーション力の向上を図った。
2. 基礎設計演習	2011年～現在	立体感覚と空間把握能力の育成を重視し、模型と実際の空間の写真を使った製図指導を実施した。
2 作成した教科書、教材		
1. 短大・住宅設備計画の教材の作成	2013年9月	身近にある住宅設備の技術的概要を写真、図入りで解説 2年次以上の設計実習向けに、製図のポイントをチェックリスト形式で簡単に確認できるようにした。尚、この教材は担当外の設計実習でも活用されている。 構造形式毎の主な設計ポイントを図入りで解説 二級建築士試験に対応する住宅計画上の重点項目を、理解しやすいように図入りで解説。 生活様式と共に移り変わる台所、浴室、便所、洗面所の変遷をまとめると共に、次世代に向けた社会動向を反映した事例を解説。 具体的な作図手順の解説と共に、実際の空間と2次元で表現する図面との相関関係を理解させる工夫を盛込んだ。 CADにおいてよく使う操作、作図スピードアップのためのコツなどを図入りで解説
2. 大学・短大の設計実習の教材作成	2013年10月	
3. 短大・設計実習における教材の作成	2013年06月	
4. 短大・住宅計画の教材作成	2011年09月	
5. 大学・住宅設計の教材の作成	2011年09月	
6. 大学、短大の基礎製図実習の教材作成	2011年04月2013年改訂	
7. 短大・CAD実習における教材の作成	2010年04月	
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 企業と提携したインターンシップの実施	2010年～現在	建築、インテリア系の企業と提携したインターンシップを企画し、企業側との研修内容の調整を行った。また派遣する学生に対し、建築・インテリア系の企業で働くために必要な基本的な心構えとスキルを指導した。
4 その他		
1. あがまち commons 地域をつなぐ集合住宅	2017年3月	学生の指導/日本建築学会近畿支部 第71回卒業設計コンクールへの学科代表応募作品。
2. 旧草津川みらい構想	2017年3月	学生の指導/日本建築学会 第58回全国大学・高専卒業設計展示会に出展した学科代表作品
3. 「ただいま」と「おかえり」のいえ -高齢者と子供の交流による住環境の改善-	2016年3月	学生の指導/日本建築学会近畿支部 第70回卒業設計コンクールへの学科代表応募作品。
4. 新開地シネマストリート計画	2016年3月	学生の指導/日本建築学会 第57回全国大学・高専卒業設計展示会に出展した学科代表作品
5. 子どもの寄り道	2015年6月	学生の指導/近代建築 6月号別冊 卒業制作2015掲載p240, 241
6. もてなしの駅舎	2015年3月	学生の指導/日本建築学会 第56回全国大学・高専卒業設計展示会に出展した学科代表作品
7. もがりの森 -現代の葬儀のあり方の考察-	2015年3月	学生の指導/日本建築学会近畿支部 第69回卒業設計コンクールへの学科代表応募作品。
8. 「つみきのいえ」その後	2014年6月	学生の指導/近代建築 6月号別冊 卒業制作2014掲載p246, 247
9. ル・コルビュジェ最後の7日間	2013年6月	学生の指導/近代建築 6月号別冊 卒業制作2013掲載p246, 247
10. 感情と建築の両義性 一心のケアと生活支援—	2013年3月	学生の指導/日本建築学会近畿支部 第67回卒業設計コンクールへの学科代表応募作品。
11. 雨の美術館 —日本人の美意識をたどる—	2013年03月	学生の指導/日本建築学会 第54回全国大学・高専卒業設計展示会に出展した学科代表作品
12. 変化する風景 —体感・滞在型余暇施設の提案—	2012年3月	学生の指導/日本建築学会 第53回全国大学・高専卒業設計展示会に出展した学科代表作品 京都建築学生之会合同卒業設計展公開講評会「建築×建築」第3位入賞
13. from NAKAZAKI	2011年6月	学生の指導/近代建築 6月号別冊 卒業制作2011掲載p226, 227
14. 学科内のギャラリー化の企画、運営	2011年～現在	卒業研究、制作および授業における優秀作品と各研究室紹介パネルの掲示を考案・実施。学生に対し具体的な目

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
15. 学生への資格取得支援	2010年～現在	標を提示することで、教育的効果を狙った。 ・二級建築士学科試験対策講座の学内講座を開講 ・インテリアコーディネーター学科&製図試験対策講座のカリキュラムを一新（2010年～2013年）
16. 学生へのキャリア支援	2010年～現在	学科特性に即したセミナー、勉強会の企画・実施

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 一級建築士		
2. 高等学校教諭専修免許（工業）		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 一級建築士として建築設計活動に従事	～現在	
4 その他		
1. 親子向けワークショップ「わたしたちのまちづくり」	2016年10月16日	「兵庫・神戸みんなの住まい展」（兵庫・神戸 みんなの住まい展実行委員会主催）にて、兵庫県建築士事務所協会からの委託による子供向けワークショップを実施。
2. 歴史的な地方小都市における地域活性化に関する研究	2015年5月～2017年3月	兵庫県たつの市のまちづくり団体「龍野地区まちづくり協議会」主宰の調査研究。地区内に残る伝統的建造物の現状、地区住民の居住環境に対する意識、および来訪者の行動を調査・分析し、伝統的建造物を活用する上での課題と方向性を示した。
3. 垂水・すまいのリフォーム講座の講師	2013年10月～11月	垂水区役所主催の一般市民向けリフォーム講座において、リフォームを実施する際に必要な基本的知識について講義した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2 学位論文				
1. 歴史的都市における住環境の研究	単	1988年03月01日	京都工芸繊維大学大学院	修士論文
3 学術論文				
1. 歴史的な地方小都市における地域活性化に関する研究 その2-伝統的 家屋の居住環境向上と活用について-	共	2017年05月26日	日本建築学会近畿支部 研究報告集 計画系 p .137～140	伝統的の家屋居住者の家屋に対する価値意識と、居住環境を現代の生活に適合させるための課題を明らかにし、家屋の維持・活用の方向性として、単独家族居住や常時居住にこだわらないシェアリング居住の形式を具体的な改修案として提示した。 植保奈美、山田由美、西村和 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2. 歴史的な地方小都市における地域活性化に関する研究 その1-地域特性を考慮した伝統的建造物の活用について-	共	2017年05月26日	日本建築学会近畿支部 研究報告集 計画系 p 133～136	歴史的町並みが残る地方小都市のひとつである兵庫県たつの市龍野地区を研究対象地とし、生活環境、コミュニティ、観光資源、町の空間特性の4つの視点から分析した町の地域特性をもとに、伝統的建造物の地域特性を考慮した活用に向けた課題を整理し、活用の方向性を提示した。 西村和、山田由美、植保奈美 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
3. 宇多野コーポラティブハウス「集まって、心地よく、永く住む」ための集住のあり方（査読付）	共	2013年9月1日	生活環境学研究No.1（武庫川女子大学）p6-9	歴史文化の街・京都において、持続可能な居住環境の構築に向けて、景観デザインのみではなく住宅所有のしくみや住民意識にも立ち返り、周辺環境への調和と居住空間の充実・維持を両立する方策を立案、実施し、その有効性を検証した。 山田由美、角田暁治
4. プラザK.I.T（審査あり）	共	2010年03月20日	日本建築学会 作品選集2010 p162-163	本野精吾設計の車庫と老朽化が進み活用されなくなった実習室をリビルドし、新たに門衛所を併設して学生サロンとして再活用した計画。つくられた時代と機能が異なる3つのヴォリュームを、違和感なく連続させる方策を考察した。 角田暁治、山田由美 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5. 住環境デザインの研究(6)：京町家の増改築事例に関する考察<その2>	共	1987年5月1日	日本建築学会近畿支部 研究報告集 計画系(27) p437-440	実際の京町家増改築計画を通して、現代生活に求められる空間構成から必要な建築設計上の基準を設定し、従来の京町家の空間に適合させるための設計手法を考察した。 西村征一郎、佐々木由美
その他				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				
1. 宇多野コーポラティブハウス	共	2012年09月12日	日本建築学会建築デザイン発表会 学術講演梗概集 2012(建築デザイン)p70-71	「一団地申請」「コーポラティブ方式」「スケルトン定期借地方式」「長期優良住宅設計指針の遵守」を採用することで、住み手のライフサイクルの変化に対応した持続可能な住環境の形成を可能にした集合住宅。 山田由美, 角田暁治
3. 総説				
1. 宇多野コーポラティブハウス	共	2012年03月15日	Good Design Award2011 p344	天宅毅, 角田暁治, 山田由美
2. 奥池の家	単	2006年4月号	住宅特集(新建築社)2006年4月号p152~157	
4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績				
1. Kクリニック	単	2014年竣工	大阪市(実施設計)	高齢者患者を対象とした、バリアフリーとヒーリングをテーマとしたインテリア空間のデザイン
2. 宇多野コーポラティブハウス(グッドデザイン賞2011住宅部門受賞)	共	2010年竣工	京都市(実施設計) グッドデザイン エキスポ2011	歴史文化の街・京都において、「一団地申請」「コーポラティブ方式」「スケルトン定期借地方式」を採用し、住み手のライフサイクルの変化に対応した持続可能な住環境の形成を可能にした集合住宅。 角田暁治, 山田由美
3. 八幡の家	単	2009年竣工	大阪府八幡市に現存(実施設計)	「不確実な将来への対応」をテーマに、可能な限りのフレキシビリティと許容量をもつ個人住宅。大きな室容積を持つリビングに引戸レールを仕込んだ飛び梁を設け、空間を必要な領域毎に区切ることと増床を可能にした。
4. 逆瀬川の家	単	2009年竣工	宝塚市に現存(実施設計)	住宅密集地における個人住宅。吹抜や階段、四方に開けた小さな開口部を有効に使い、コンパクトではあるが狭さを感じさせない工夫を施した。
5. プラザK.I.T	共	2007年竣工	京都市(実施設計) 日本建築学会 作品選集2010	老朽化が進み活用されなくなった実習室と車庫をリビルドし、新たに門衛所を併設して学生サロンとして再活用した計画。 角田暁治, 山田由美
6. 奥池の家	単	2006年竣工	兵庫県芦屋市(実施設計) 住宅特集(新建築社)2006年4月号	生活空間と周囲の緑との距離感を可能な限り小さくした個人住宅。
7. アクアゴールドチャペル(大阪ヒルトン増築)	単	2002年竣工	大阪市内に現存(実施設計)	ホテル低層階屋上でのチャペル増築計画。チャペルと池のインタラクティブな関係とチャペルに至るまでのシークエンスを重視すると共に、チャペル内部では光が差し込むことで室内の表情が時間と共に移り変わる仕掛を施した。
8. コンドーFRP本社ビル	共	2001年竣工	大阪市(実施設計) 彰国社ディテール147号	周辺の街並を構成している人間的スケールと、ごくありふれたローコストの素材との同調をテーマとした事務所ビル。 野村充, 山田由美
9. セカンドイン梅田	共	1998年竣工	大阪市(実施設計) 日経アーキテクチャー(1999.2.22号) 商店建築(1999年2月号) ホテル旅館(1999年8月号)	眠るという機能に特化した快適性とリミテッドサービスを追求した宿泊特化型のホテル。 野村充, 山田由美
10. 三木楽器アメリカ村店	共	1997年竣工	大阪市(実施設計) 彰国社ディテール134号	音楽教室と貸スタジオを併設する楽器店。街の喧騒の中に更に新たな表象を創り出すのではなく、時間や行為を媒介として街と呼応する建築のあり方を考察した。 野村充, 山田由美
11. 西尾マンション		1997年竣工	大阪市内に現存(実施設計)	古くから居住する建築主と新しい都市居住者の共生をテーマとした共同住宅。
12. 日本紐釦貿易ビル		1994年竣工	大阪市内に現存(実施設計)	問屋街に建つ店舗兼事務所ビル。条例規制で生まれたスカイラインの街並に、新しいアイデンティティを持つ建築的文脈を挿入しようとした。
13. メイセー淡路町ビル		1991年竣工	大阪市内に現存(実施設計)	中小ビルが乱立する街区における賃貸事務所ビル。壁面に汎用性のある外装材を当てはめ、ステレオタイプのデザイン手法を組合せた上で「並置」「重層」といった形態操作を施すことで雑多な街の景観との呼応を図った。
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2015年4月～現在	龍野まちづくり協議会 伝建部会
2. 2007年～現在	大阪府建築士会
3. 1989年～現在	日本建築学会